

◆単元や学習内容のまとまりの中で、育成を目指す資質・能力を基に、単位の時間の役割を明確にし、授業づくりをすることが大切です。

前時の問題解決や探究の過程

事象提示

課題設定

予想

観察、実験

結果

考察

まとめ

終末事象

次時の問題解決や探究の過程

## 【学習過程における授業づくりのポイント】

### 差異点や共通点を基に、問題を見だし、学習課題を設定する

例えば、2つの事象を比較できるように事象を提示するなどして、児童生徒と一緒に追究・解決可能な課題を児童生徒自らの言葉で設定できるようにする。

### 既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説の発想

予想やその根拠を交流することを通して、課題解決に向けて、追究していく内容を具体化、焦点化できるようにする。

### 見通しをもって課題を解決する方法の立案

予想や仮説を基に、解決の方法を発想できるようにする。また、予想や仮説が正しければどうなるのかという見通しまで明確にできるようにする。安全面や器具操作等についても、児童生徒と確認する。

### 根拠となる事実（結果）を基に考察

観察、実験の結果を図や表、グラフ等に整理し、整理したものを基に結果について考察し、考えと考えの根拠となる事実を書いたり話したりできるようにする。

### 児童生徒が自分の考えの妥当性を吟味できる場

多面的に考察し、意見交換したり、根拠を基にして議論したりして、より妥当な考えをつくりだせるようにする。

### 学習したことを自分の言葉でまとめ振り返ることでの変容の自覚

全体でまとめる時に、キーワードや書き出しを確認し、自分の言葉でまとめられるようにする。

### 学習したことを日常生活へ適用させる場

終末事象として、日常生活や社会に適用するための具体物を提示したり、評価実験を演示したりして、科学を学ぶことの意義や有用性を実感できるようにする。

※すべての学習過程における授業づくりのポイントを毎時間重点的に扱うのではなく、単元や学習内容のまとまりの中で、意図的、計画的に実施することが大切です。

※岐阜県総合教育センターのHPには、授業づくりに関わる多くの資料があります。  
<http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/rika/top.htm>  
[http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/rika/simpo/kensyuu\\_toppu.pdf](http://www.gifu-net.ed.jp/kyoka/rika/simpo/kensyuu_toppu.pdf)

